

令和3年度 築上郡中学校剣道大会要項

1 大会名 築上郡中学校剣道大会

2 主催 築上郡中学校体育連盟
築上郡各町（学校組合）教育委員会

3 共催 京築地区中学校体育連盟

4 期日 令和3年7月 4日（日） 役員受付 8：15
予備日 11日（日） 開始式 8：45
競技開始 9：00

※延期連絡 悪天候の場合 6時決定～各地区専門委員～出場校の顧問

5 会場 椎田中学校体育館

6 参加制限 団体：男女とも各中学校1チーム
個人：男子 共通の部
女子 共通の部

7 競技方法 団体はリーグ戦とし、後に個人を男子はリーグ戦、女子はトーナメント戦で行う。

8 競技規則

- (1) 全日本剣道連盟試合規則及び審判規則並びに文部科学省学校剣道の手びきと福岡県中学校体育連盟の申し合わせ事項、本大会の申し合わせ事項に準じて行う。
(カーボン竹刀・アイガードの使用を認める)
- (2) 竹刀は、長さ1m12cm（3尺7寸）以下、重さは女子400g以上、男子440g以上とする。また、先革は5cm以上、その直径は男子25mm、女子24mm以上で、中結いの位置は剣先より全長の1/4のところと結んだものとする。
- (3) 大会参加に際して引率・監督は、当該学校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては当該学校の教職員とする。但し、教職員以外のコーチは校長が認め、県中体連に登録し、承認を受けた者とする。
- (4) 団体は、3分3本勝負、勝敗の決しない場合は引き分けとする。大将戦終了後に勝者数、取得本数が同数の場合は任意の選手による代表者戦を行う。チームの順位は、①学校単位の勝ち数、②勝者数、③総本数、の順で決定する。なお、③で同数の場合は代表者戦を行う。代表者戦は3分1本勝負、勝負の決しない場合は延長戦を勝負が決するまで時間を区切らずに行う。
個人は、3分3本勝負、勝負が決しない場合は延長戦を勝負が決するまで時間を区切らずに行う。
- (5) 団体は1チーム5名（補欠2名）とする。選手が5名に満たない場合は、次鋒、副将の順に欠員とする。

9 表彰

第1位、第2位を表彰する。
賞状大4枚（1位2枚、2位2枚）、小36枚（1位18枚、2位18枚）

12 組み合わせについて
個人のトーナメント表は、出場選手数を確認した上でこのとき作成する。

13 地区大会出場について
(1) 団体は男女ともオープン参加とする。
(2) 個人は男女共通の部の上位4名は、7月17日（土）に行橋小学校体育館で開催される地区大会に参加する義務を負う。

14 マナーチェックについて
開会式前に選手全員がそろってマナーチェックを受ける。

15 その他

- (1) AEDは本部に設置。
- (2) Jアラート警報時は試合を一時中断し、屋内にて安全を確保する。警報が解除され次第、試合を再開する。
- (3) 福岡県中学校体育連盟では、個人情報保護に努めています。携帯電話等で撮影した画像・映像をYouTubeやSNSに無断でアップされることのないよう注意してください。
- (4) 選手宣誓
前年度優勝校が行う。（上毛中学校女子）
- (5) 優勝旗返還
昨年度、試合が開催できなかったため返還はしない。
※ 優勝旗を必ず持参のこと。
- (6) 延長戦が長引いた場合には、延長開始後7分経過で中断させ、3分の給水タイム→7分→3分を繰り返す。その際、試合場で面を取り、監督やコーチとの接触は認めない。

令和3年度薬上郡中学校(剣道)大会感染防止ガイドライン

- 受付
 - 窓口には、手指消毒剤を設置すること
 - 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること
- 各校責任者は、参加者から以下の事項を記載した健康観察カードの提出を求め、大会終了後1ヶ月間保管すること
 - 氏名、年齢※個人情報の取扱いに十分注意する
 - 利用当日の体温
 - 利用前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱(おおむね37度5分以上)
 - 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 大会当日、以下の事項に該当する場合は参加を見合わせたり、速やかに帰宅させたりすること
 - 体調がよくない場合(発熱・せき・咽頭痛などの症状がある場合)
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- マスク等の準備
 - 参加者がマスクを準備しているか確認すること
 - 運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用を求めること(運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとする)
- 大会参加前後の留意事項
 - 大会の前後のミーティング等においても、三つの密を避けること
 - 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること
- 試合中の留意事項
 - 待機中は1～2m程度あけるなどして、人の密度を減らすこと
 - 試合の際は、「マウスガード」と「面マスク」は必ず着用すること。「アイシールド」は着用することが望ましい
 - 競技終了後はすみやかに退出させること
- 手洗い場所
 - 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意すること
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
 - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を必要に応じて用意すること(参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること)
 - 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- 更衣室、休憩・待機スペース
 - 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること(障がい者の介助を行う場合を除く)
 - 一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講ずること
 - 複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等)については、こまめに消毒すること
 - 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- 飲食
 - 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること
- 洗面所
 - トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー等)については、こまめに消毒すること
 - トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
 - 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意すること
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
 - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を必要に応じて用意すること(参加者にマイタオルの持参を求めても良い。手指を乾燥させる設備等については使用しないようにすること)
- 飲食物の提供時
 - 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
 - 飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供すること
 - 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること
- 保護者の管理(適時アナウンスや掲示物でお知らせをすること)

- 保護者の参加人数については、団体戦に参加する学校は、各学校5名以内、各校で準備した「〇〇中保護者」と記載した吊り下げの名札を身につけた者に限ること
- 大会関係者や保護者同士が密な状態とならないようにすること
- 大声で会話をしたり、声援を送ったりしないこと
- 会話をする場合にはマスクを着用することなどの留意事項を周知すること
- 大会会場
 - 大会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
 - 換気設備を適切に運転すること
 - 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと
 - 会場出入り口には、アルコール消毒薬を設置すること
- ゴミの廃棄
 - 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
 - マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること